

小学校情報テキストの単元実施状況調査

Actual Status Report of Implementation of Teaching Textbook about Information and ICT for Elementary School Students

中川 斉史*

Hitoshi Nakagawa

三好教育ネットワークセンター*
Miyoshi Education Network Center

堀田 龍也**

Tatsuya Horita

(独)メディア教育開発センター**
National Institute of Multimedia Education

<あらまし>

小学校情報テキスト(以下情報テキスト)*¹(2006)は、小学校で利用できる教科書風のテキストで、情報教育全般を系統的に学習できるものである。徳島県三好地域では、この情報テキストを、補助教材として採択し、すべての学校に配布した。そして 2007 年度の利用状況を詳しく分析してみると、学年による授業状況や、各単元の取り扱い状況に大きなばらつきがあることがわかった。

<キーワード> 小学校 情報テキスト カリキュラム 情報教育

1. はじめに

堀田ら*²(2005)は、小学校において情報教育を扱う主たる教科等がない現在、情報教育が担任の姿勢により左右されている状況に鑑み、「どんな内容を」「何年生くらいで」「どんな学習課題で」という明確な例示をおこなうために、教科書のような体裁で、学習内容をまとめた教材を開発した。

それによりこれまで明確にカリキュラムとして位置づけられていなかった情報教育が、学校全体として広がるものと期待されている。本研究は、これらの情報テキストをそれぞれの担任がどのように利用しているかについて調査をし、考察するものである。

2. 調査方法

徳島県三好地域は 1 市 1 町からなり、小学校が 37 校ある。この地域は、教育ネットワークセンターが中心となって、地域内の学校の情報教育環境整備や研修などを行っている。2007 年 7 月には地域内すべての小学校の該当児童に公費にて児童用情報テキストおよび教師用指導書を配付した。

情報テキストは、3 4 年生向けに 13 単元、5 6 年生向けに 16 単元が並んでおり、各単元は、3～7 時間構成となっている。

2008 年 3 月に、三好地域の 3 年生以上の

学級担任 101 名に対し、情報テキスト内の各単元の授業実施状況を、

A 単元に担当されている時数以上を使って授業を行った

B 単元に担当されている時数通りで利用して授業を行った

C 単元を授業したが、担当されている時数よりは少なかった。

D この単元は授業を行っていない

の 4 つから選び、その理由についても調査した。

3. 調査結果

情報テキストは、3・4 年生用で 1 冊、5・6 年生用で 1 冊となっている。また、この地域は複式学級が多いため、回収データの内、単式学級のデータのみを整理した。

図 1, 2 のグラフは、各単元を「実施していない」と回答した学級数であり、各学年毎にプロットしているものである。

(1) 3・4 年生の実施状況について

図 1 にあるように単元 1, 2, 3 のような「慣れ親しむ」内容を中心に授業を実施しているが、単元 10, 11 のような「メディアリテラシー」的な内容や、単元 9 のような「情報操作」そのものを扱った内容については授業できていない。

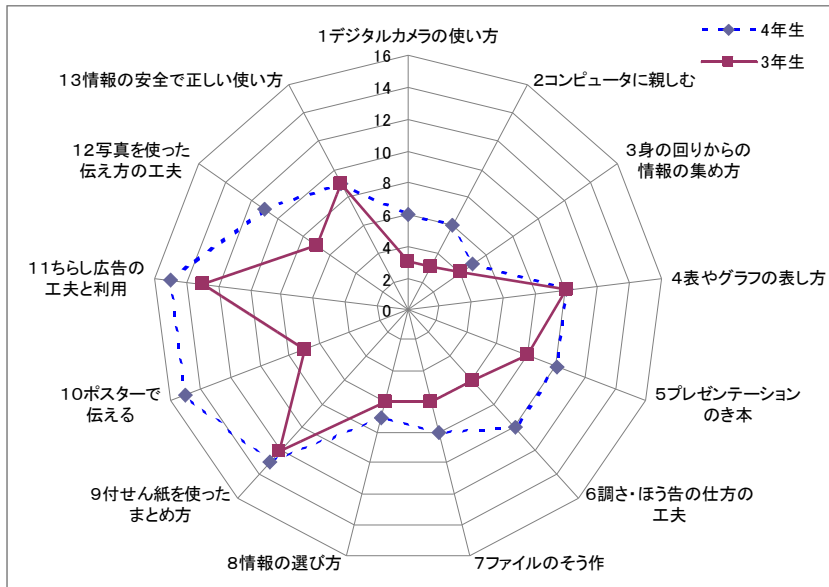


図1 3・4年生の未授業単元

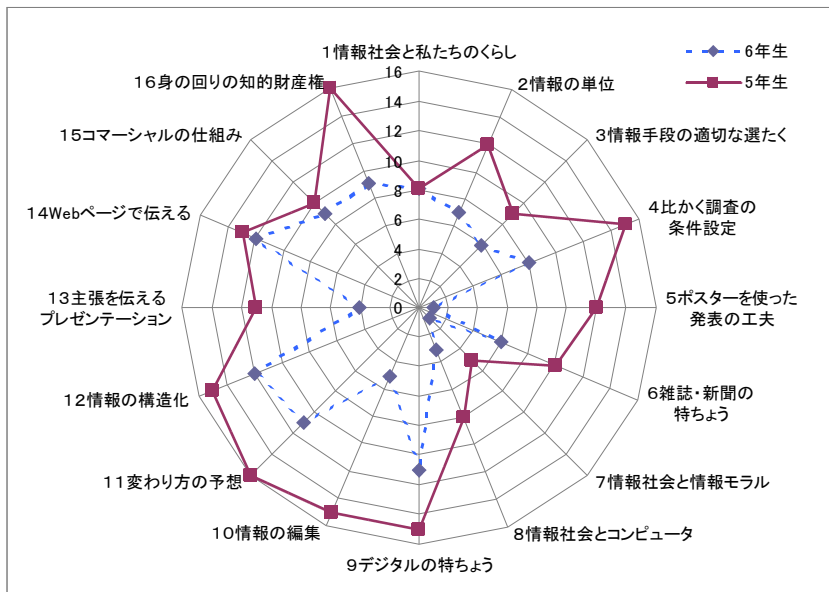


図2 5・6年生の未授業単元

(2) 5・6年生の実施状況について

図2にあるように単元9,10,11,12のような「情報の科学的理解」に関するような単元があまり実施できていない反面、単元1,7,8のような「情報社会に参画する態度」に関する単元は、よく実施されていることがわかる。

(3) 未実施の理由

これらの単元の授業尾していない理由の内訳を表1に示した。その結果どの学年も「授業時間不足」を理由にしていることが分かった。

表1 授業を実施していない理由(全学年)

その単元は必要ないと担任が判断したから	16.6%
授業時間の確保ができない	65.9%
次の学年で行う予定になっている	5.2%
その他	12.3%

4. 考察

情報テキストは、情報教育で教える内容を分かりやすく提供している反面、「教科との関連」や授業者の「授業のしやすさ」により単元実施にばらつきが見られる。

また、特に「情報の科学的理解」に関連する単元は、授業時間確保の問題から、授業ができていない。

この状況調査結果を基に、地域内での情報テキスト利用促進の手だてを地域センタ

ーとして考えていく予定である。

<参考文献>

*1 堀田龍也編著(2006), わたしたちとじょうほう3年4年, 私たちと情報5年6年, 学研

*2 堀田龍也, 高橋純(2005), 情報に関する教育内容の整理を目指した小学生向けテキストの開発の試み, 日本教育工学会, 第21回大会講演論文集, pp.69-72